発行　令和6年12月26日

三原市久井歴史民俗資料館　vol.46

モーモー通信

ふるさとの土人形　三原人形

やあ！みなさん、こんにちは。私たちは、三原人形です。子どもの初節句かざりや、土産物、玩具として三原で作られていた人形です！

三原人形は明治～大正時代の終わりまで、本町の「大原」「小松」「樫田」「成川」西町の「森」「倉本」の6軒の土人形屋によって製作されました。

作り方は、三次人形や博多人形などの影響を受けていて、特色としては高さ30㎝位の大型のものが多いわ。底はなく和紙がはられ、全体的に薄く仕上がっていて、壊れやすいの。だから優しく扱って～。種類は40種くらい。天神をはじめ武者者（太閤秀吉、加藤清正、源義経）、女物（神功皇后、八重垣姫）、童子物（金時、鯛抱き）のほかに、力士や大黒天、動物（犬）などがあるの。

土人形は、明治～大正時代にかけて県内各地で作られました。三次人形、上下人形、庄原人形、常石人形、鞆人形、尾道人形、本市人形（三原人形の脇窯）などがありましたが、現在はどれも製作されていません。

三原人形の土台は、土製の型に粘土を指でペタペタはりつけて作るの。

粘土は三原城跡の北、駒ヶ原河原谷などから採取していたけど、尾道市向島や四国からも船で取り寄せることもあったのよ。

私たち、「久井町の節句とろ人形」のメンバーでもあるの！

昭和３９（1964）年、久井町の玉浦護さんが、町内の家を訪ね土人形 245 体（内三原人形 41 体）を収集したの。１体ずつの情報を調べた報告書も作ったわ。探偵みたいでしょ。→

このコレクションは、広島県の文化財として指定され、現在資料館にその一部が展示されているわよ。

ぜひ、あなたの推しの土人形を見つけにきて下さい！

114 体の展示は迫力です！

三原市久井歴史民俗資料館第２展示室

推し

民具の使い方動画公開

資料館ＨＰ上で新たに、「糸車」「薬研」「火打ち石と火打ち金」の使い方動画を３つ追加しました！

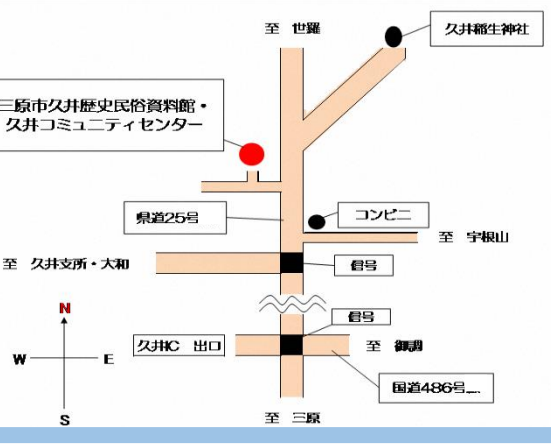
百聞は一見にしかずだモー　→

資料館 HP　QR

つづきは資料館で …

〒722-1303
三原市久井町下津 1397
三原市久井歴史民俗資料館
TEL・FAX　0847-32-7139

休館日　月曜日（月曜日が祝日の場合，翌日休館），年末年始

アクセス　中国バス久井中停留所下車

ごあんない図